

# 便利に、快適に



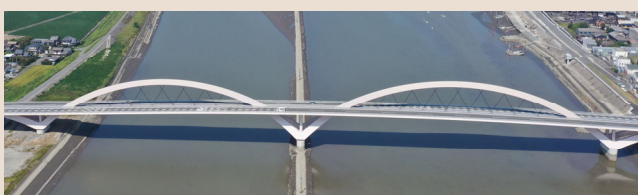
①有明早津江川大橋【橋長:854m】  
ケーブルの配置を鉛直配置したり、橋梁の色彩は裏葉色を採用するなど周辺環境との調和を意識したデザインにしています。

## 有明海沿岸道路の代表的な橋梁

地域に快適な自動車の通行と、有明海沿岸地域の新しい景色を提供していきます。



### ② 有明筑後川大橋 【橋長:1,008m】



ケーブル配置は大川市の伝統工芸品「大川組子」を模した作りであり、色彩は夕日に映える淡い桜色を基調としています。

大川市九網～同市大野島

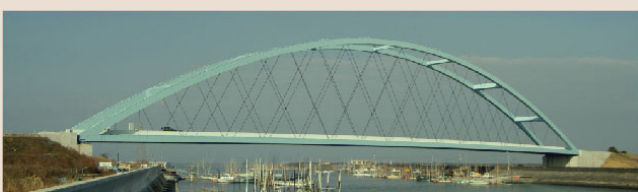
### ③ 矢部川大橋 【橋長:517m】



ケーブルを支える主塔の高さ約85m、また中央支柱は間長は261m、橋名は、地域の皆様の意見で決めました。

みやま市高田町～柳川市大和町

### ④ 健昭橋 【橋長:201m】



船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。

大牟田市(健老町～昭和開)

### ⑤ 諏訪川橋 【橋長:210m】



船の航行に支障が出ないように、中間部に橋脚を設けず、橋にかかる力をアーチ部分と桁部分で受け持つように配慮しています。

大牟田市(西港町～岬町)



地元住民の声

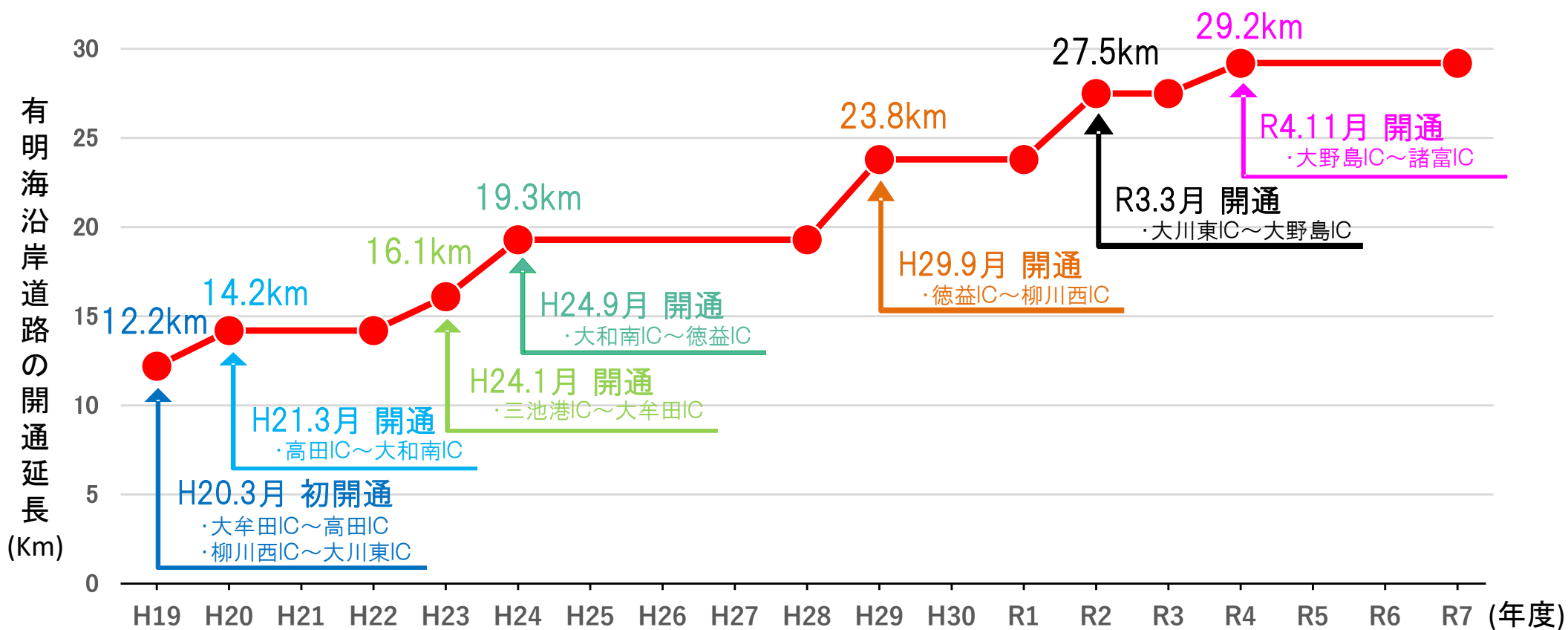
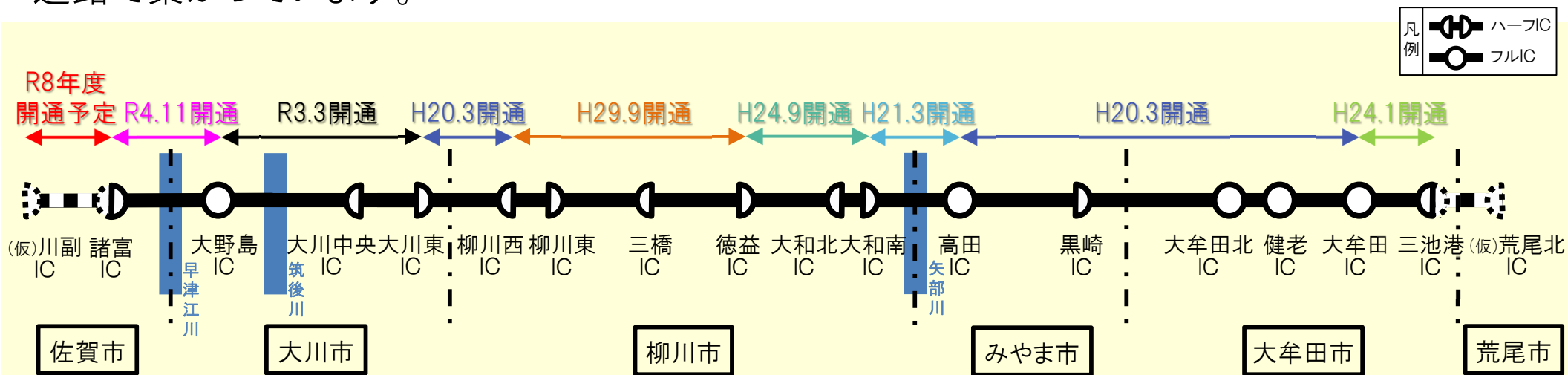
出張等で利用する際の目的地までの時間が短縮されて助かっています。また走行中の視界に入る景色に爽快感を感じています。(大川市 40代男性)

景色もいいし信号もないためドライブするだけでも気持ちがいい。(大川市 30代女性)

# 地域の広域連携



大野島IC～諸富IC(延長1.7km)が令和4年に開通したことで、福岡県と佐賀県が有明海沿岸道路で直結しました。現在、国整備区間では29.2kmが開通しており、5市が有明海沿岸道路で繋がっています。



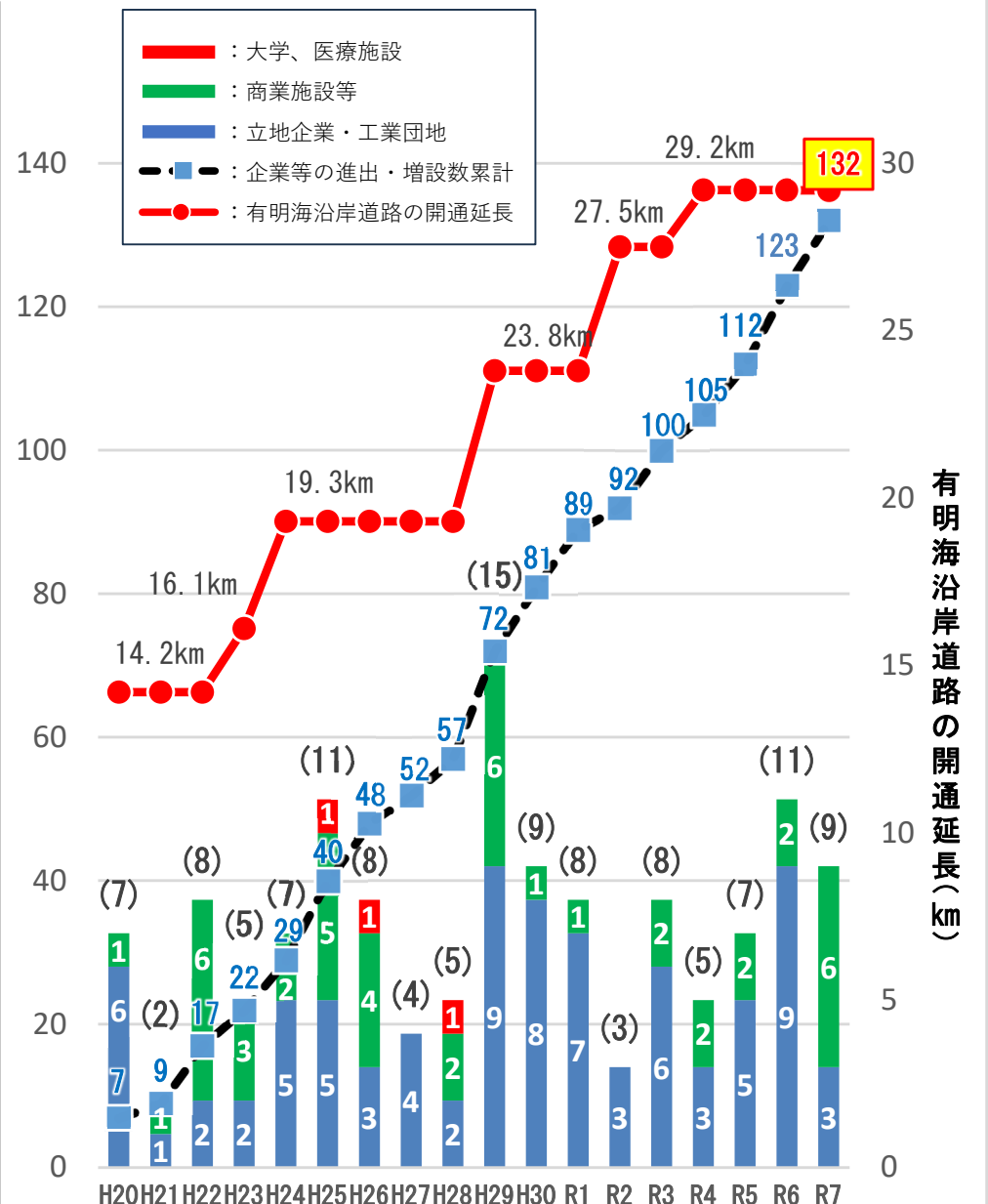
## イオンモール大牟田と周辺の状況



# 沿線開発が加速

## 企業、商業施設等が沿線地域に相次ぎ進出

有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセス性も良く、企業、商業施設、大学等計132社が新たに進出・増設しています。



■ 有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況

■ 有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況推移

資料：各自治体産業振興課等

資料：各自治体産業振興課等 (令和7年12月時点)

# 利便性の向上

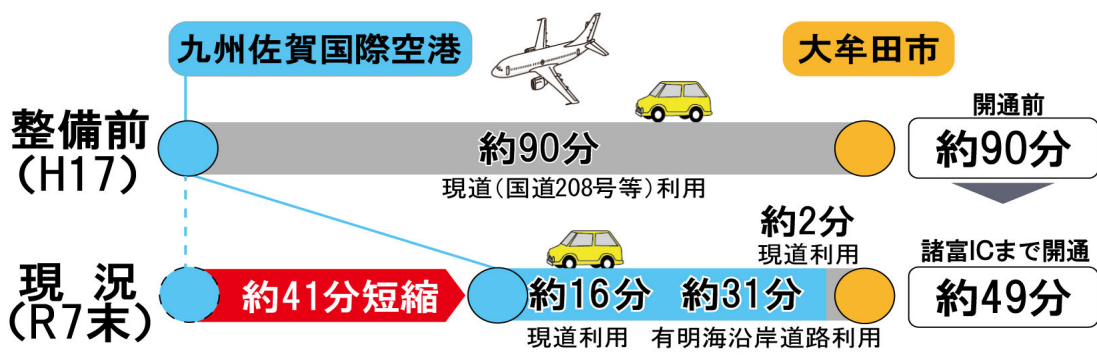


九州佐賀国際空港

## 九州佐賀国際空港までの所要時間が短縮

九州佐賀国際空港と大牟田市間の所要時間は、有明海沿岸道路の開通前(国道208号等を利用)では、約90分でしたが、有明海沿岸道路の整備により、現在の所要時間は約半分(約90分→約49分)に短縮されています。

コロナ禍で減少した九州佐賀国際空港の乗降客数は、回復傾向にあります。

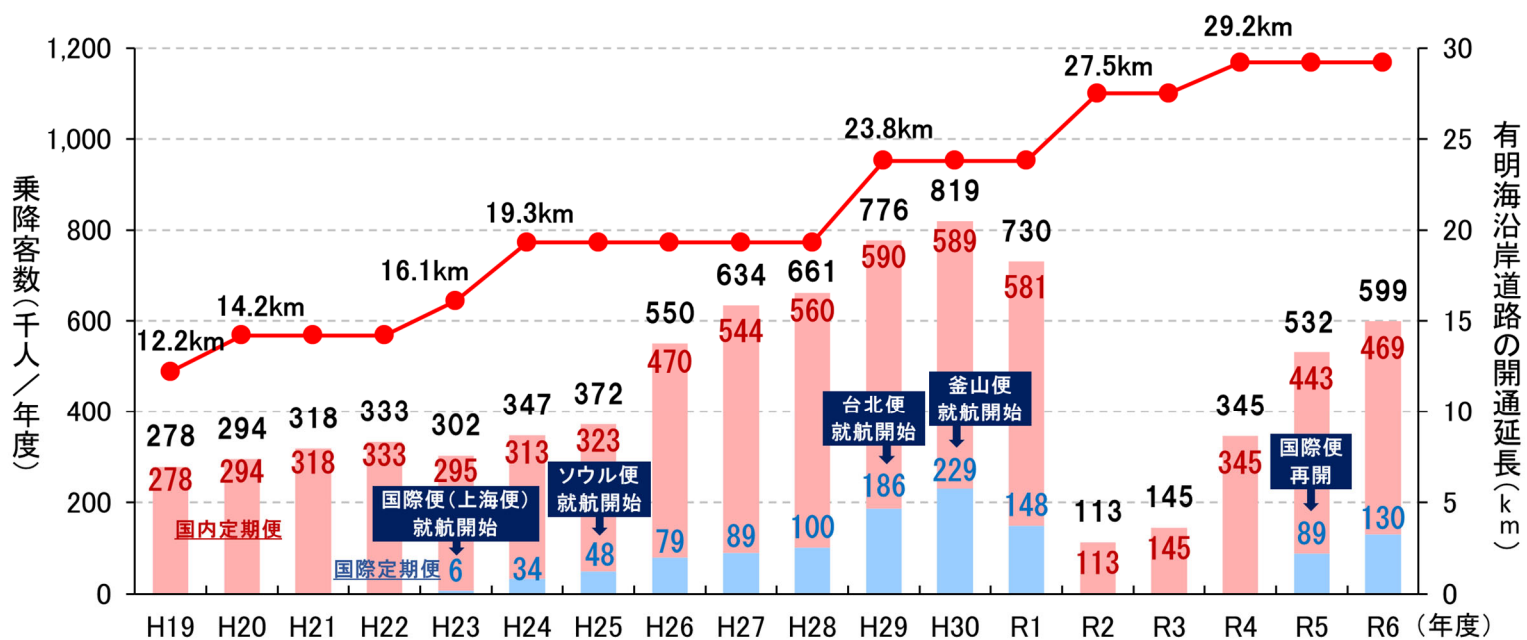


※走行速度の考え方  
・整備前はH17全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度(km/h)で算出  
・現況はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度(km/h)、及び規制速度60km/hで算出



乗降客数は約82万人まで増加

### ■大牟田市～九州佐賀国際空港の所要時間の変化



### ■九州佐賀国際空港の乗降客数

※R1国際線は各便で運休・運転見合わせの期間があったため減少。  
※R2はコロナ禍で減便、外出自粛などにより減少。

# 災害時の 緊急輸送路



益城町(2016.5.14)

資料：国土交通省（防災パネル「平成28年度 熊本地震」より抜粋）

## 熊本地震 九州縦貫道の代替機能を発揮

平成28年熊本地震発災後、九州縦貫自動車道(植木IC以南)が一時通行止めとなり、鳥栖市等の物流施設からの緊急支援物資の供給にあたっては、有明海沿岸道路が代替路として利用されました。



緊急物資輸送車両の活動状況(鳥栖市)

資料：国土交通省（「物資支援に関する補足資料」より抜粋）



九州道の被災状況(益城バスストップ付近)

資料：国土交通省（「記者発表:高速道路の復旧状況について」より抜粋）



※ H28.4.16~4.29  
通行止め(植木IC~益城熊本空港間)

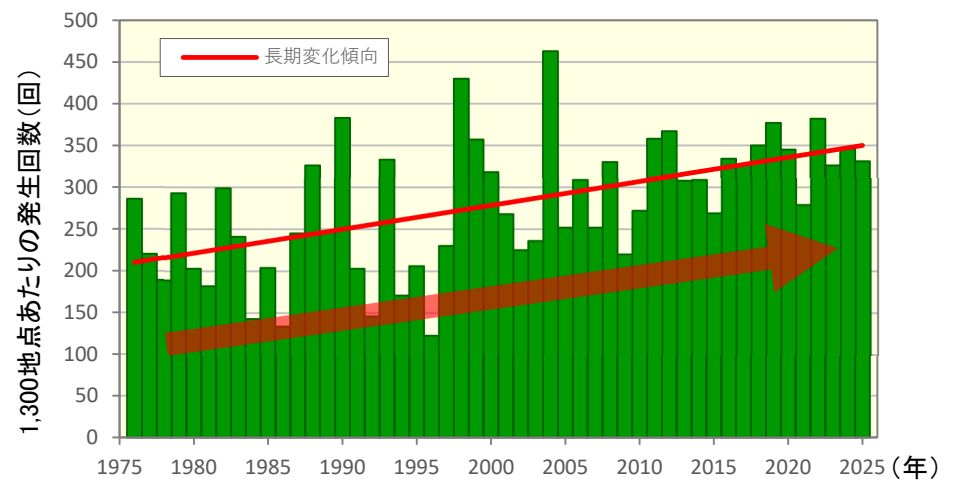
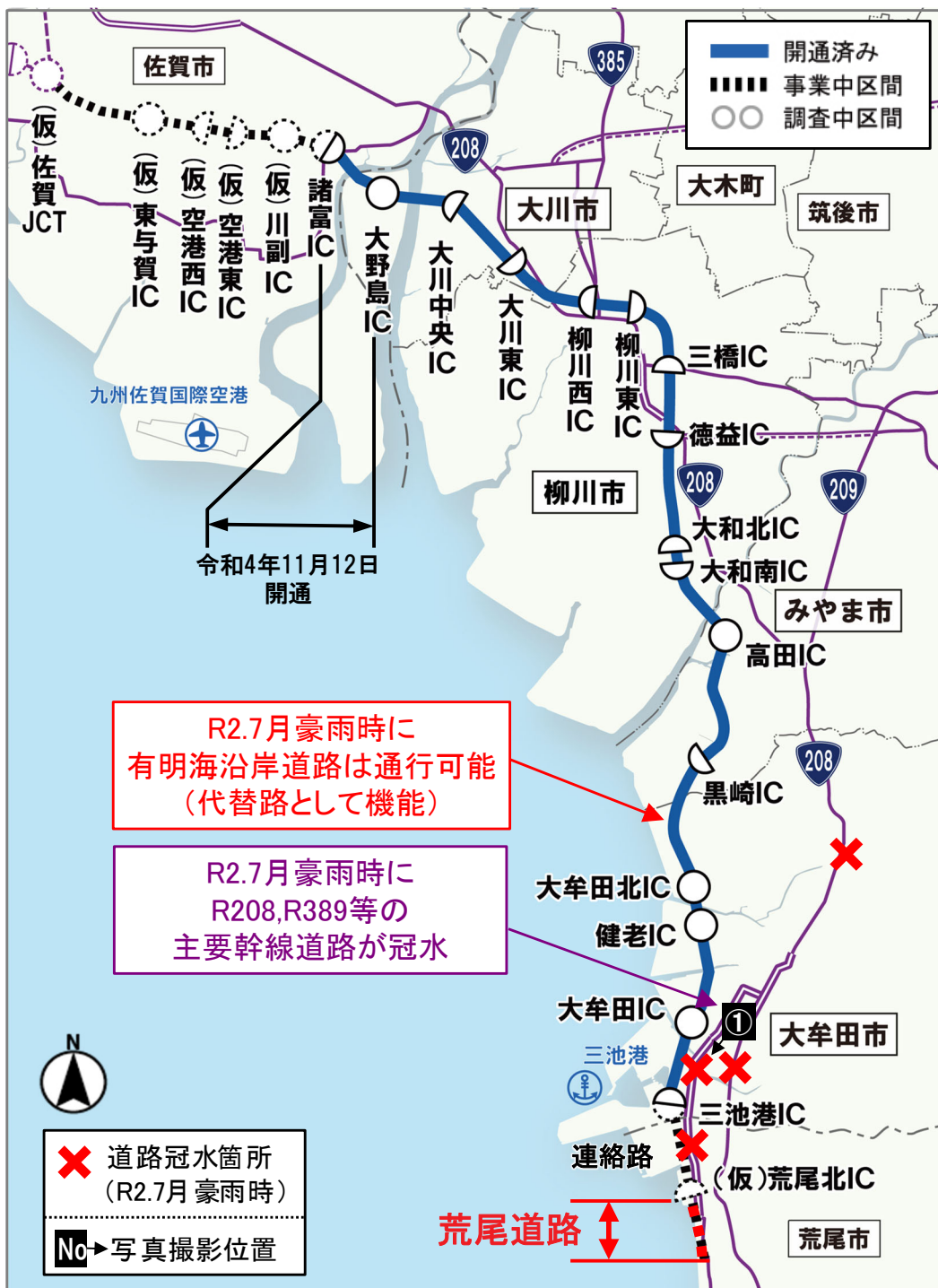
# 災害時の代替路



令和2年7月豪雨時 国道208号冠水(大牟田市)

## 豪雨等の災害時に代替路として機能

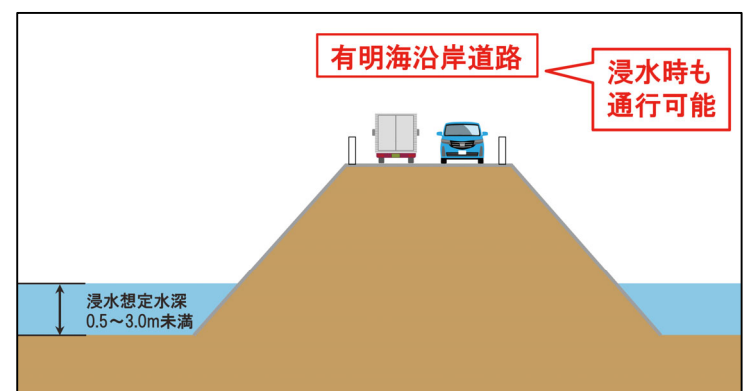
有明海沿岸地域では、異常気象による浸水被害が頻発しており、洪水の際には広範囲にわたって浸水の被害が発生しています。有明海沿岸道路の整備により、浸水時の避難経路や災害時の人命救助活動や物資の輸送を行うための緊急輸送道路として機能することが期待されます。



■【全国アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数  
資料: 気象庁



令和2年7月豪雨 国道389号 道路冠水状況(大牟田市)



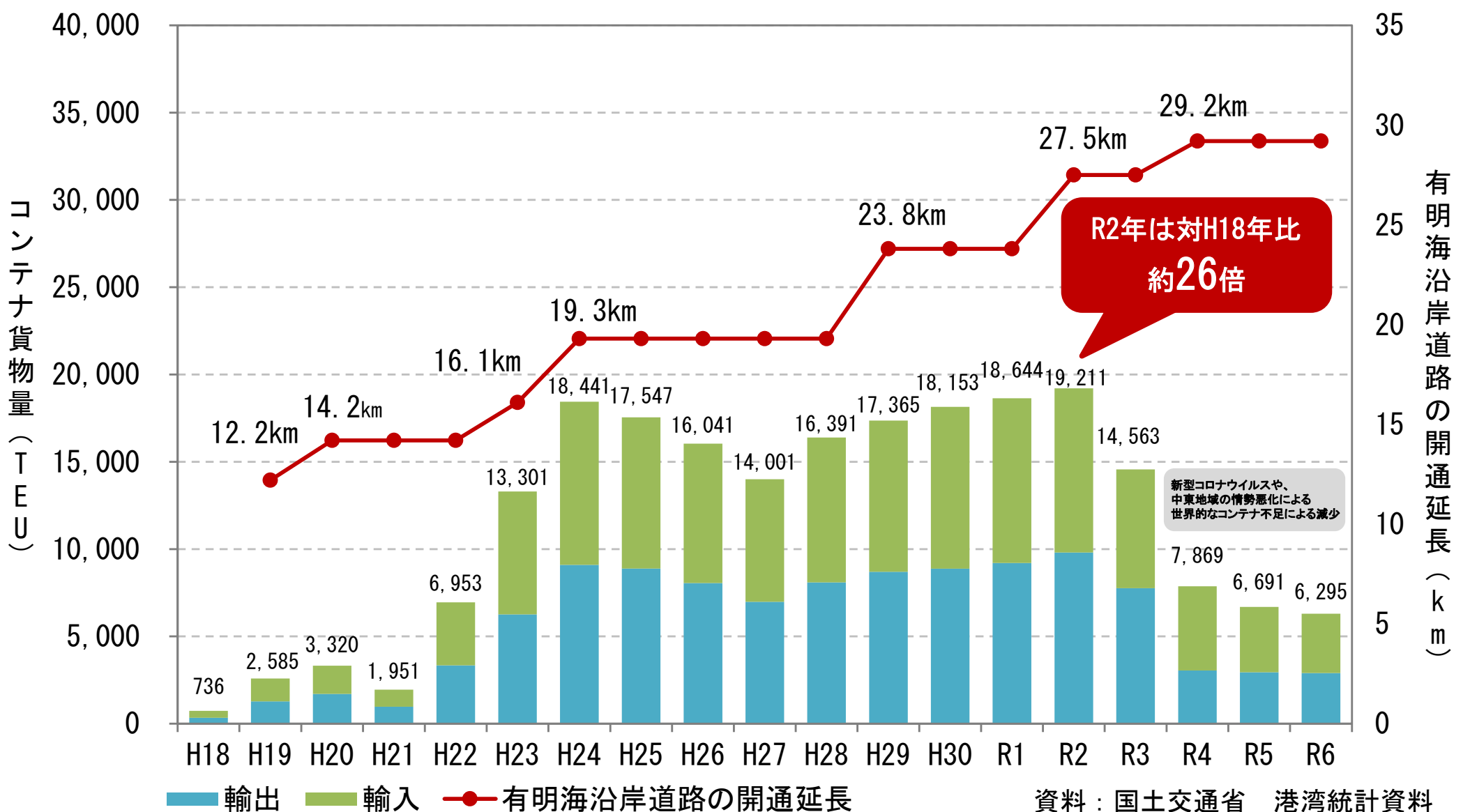
# 物流の効率化



写真提供:博多港湾・空港整備事務所

## 三池港との連携強化により、物流を支援

国際物流拠点として福岡県南部に位置する重要港湾「三池港」との広域物流ネットワークが強化されることで、物流の効率化が図られます。



資料: 国土交通省 港湾統計資料

■三池港国際コンテナ貨物量の推移

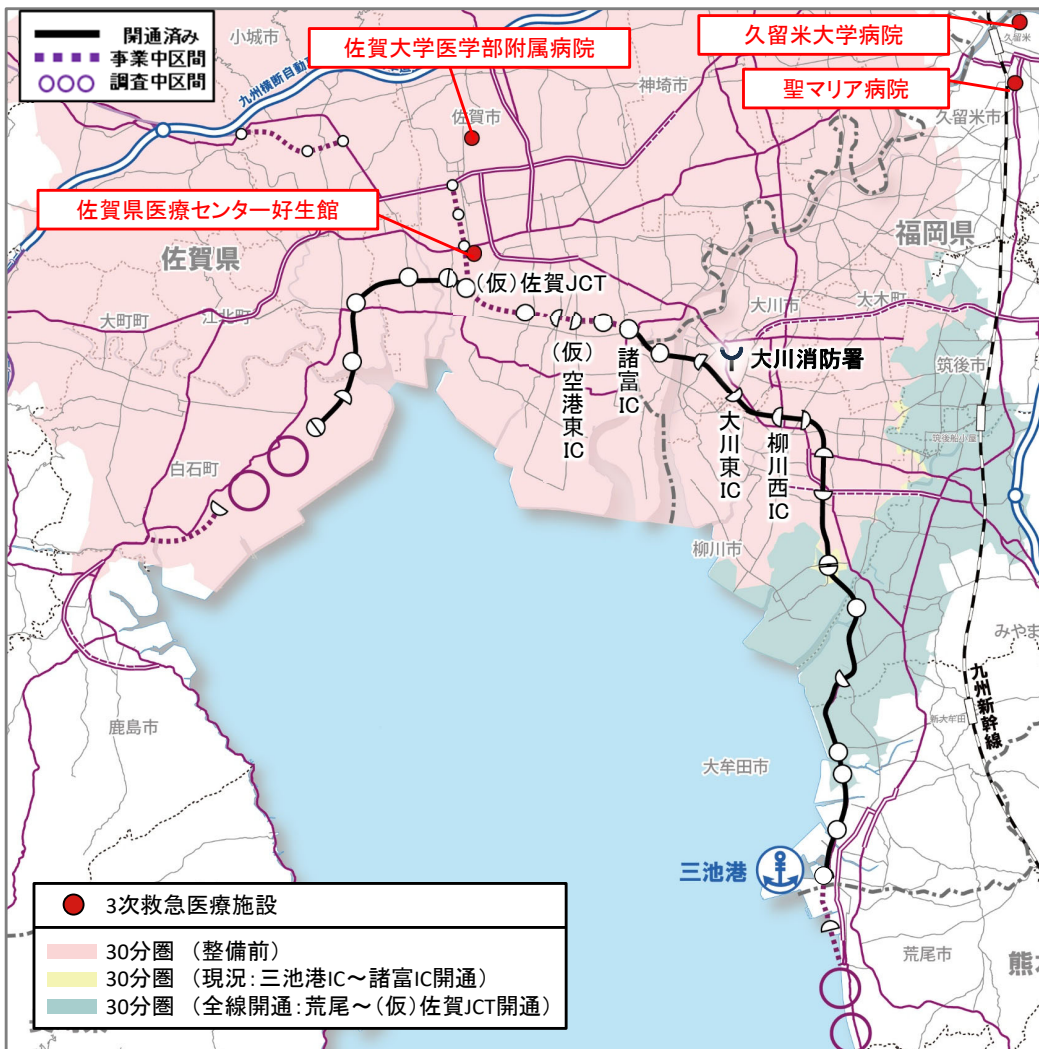
# 救急医療活動の 支援



## 緊急時の迅速な対応を支援

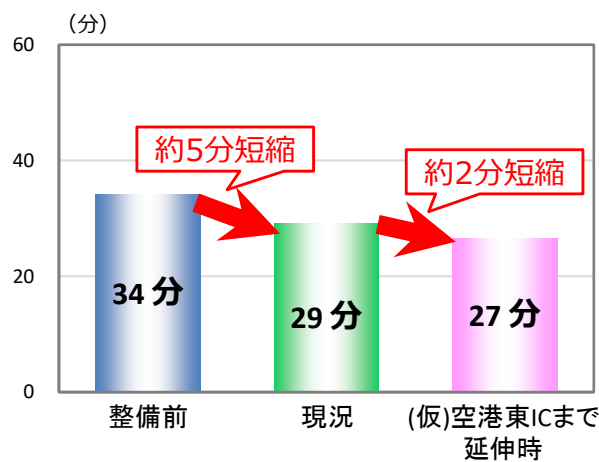
有明海沿岸地域の救急搬送件数は、近年上昇傾向にあります。道路整備により、医療施設までの所要時間短縮が図られ、救急医療時の迅速な対応に寄与しています。

道路整備が進むことで、アクセス性向上による医療体制の強化が期待されます。

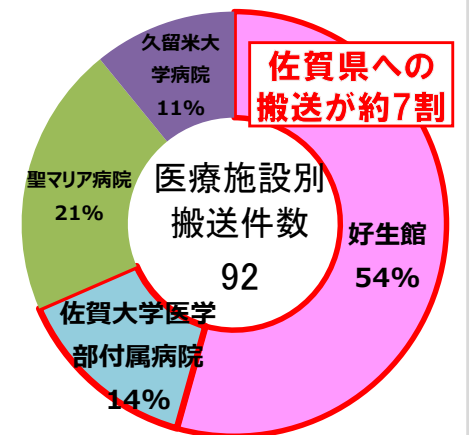


▲好生館・佐賀大学付属病院からの30分時間圏

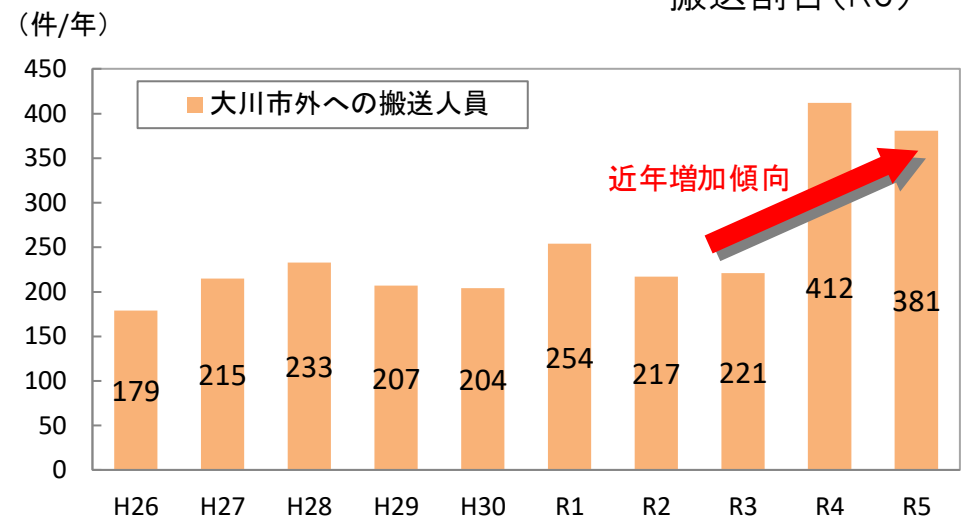
資料：R3年度道路交通センサス  
(速度：指定最高速度)



▲大川消防署～好生館の所要時間



▲大川消防署 三次救急医療施設別搬送割合(R5)



▲救急搬送実績件数

・佐賀県側の医療機関へ搬送する際は有明海沿岸道路を利用することで、時間短縮につながっている。  
・救急件数は上昇傾向の中で限られた救急車両(16台)で対応する必要があるが、出動して帰るまでの時間が短縮することは消防署の体制としても助かる。



# 豊かな観光資源を つなぐ



## 魅力ある観光施設・イベントを結ぶ

アジア最大級の国際熱気球大会「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」のほか船頭の舟歌や四季折々の景色を楽しむ「お堀めぐり」等、有明海沿岸道路の沿線地域には、豊かな観光資源が多数存在します。有明海沿岸道路の開通によって、今まで以上に周辺施設の周遊観光の増加や、地域活性化が期待されます。





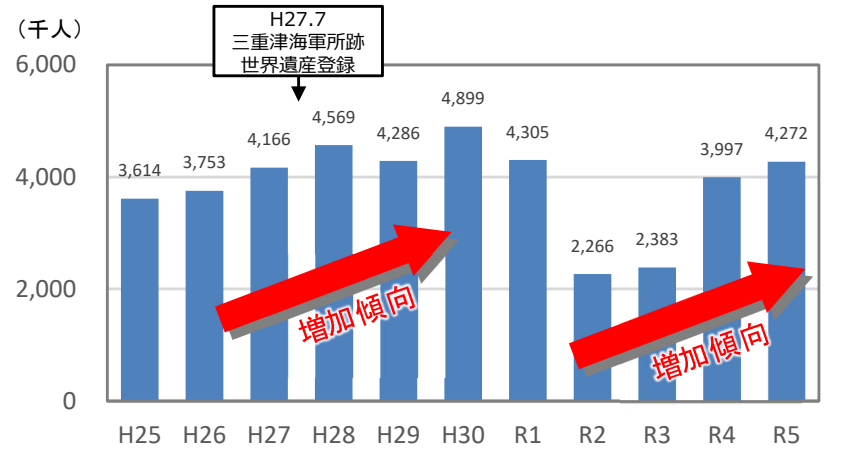
三重津海軍所跡(佐賀市)

## 魅力ある観光施設を結ぶ

有明海沿岸地域には、世界文化遺産に登録された明治日本の産業革命遺産群を始めラムサール条約登録の「東よか干潟」など豊かな自然と文化に溢れる観光資源が点在しており、観光客数は増加傾向にあります。



▲ 有明海沿岸道路周辺の観光地



資料:佐賀市観光統計

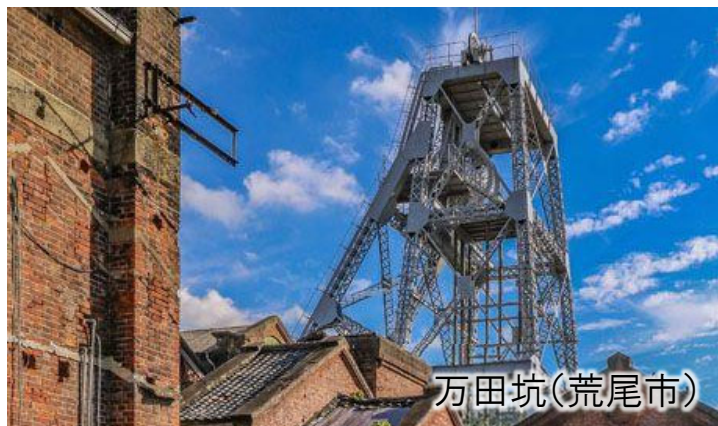
▲ 佐賀市の観光客数(県外からの観光客数)



宮原坑(大牟田市)



東よか干潟(佐賀市)



万田坑(荒尾市)



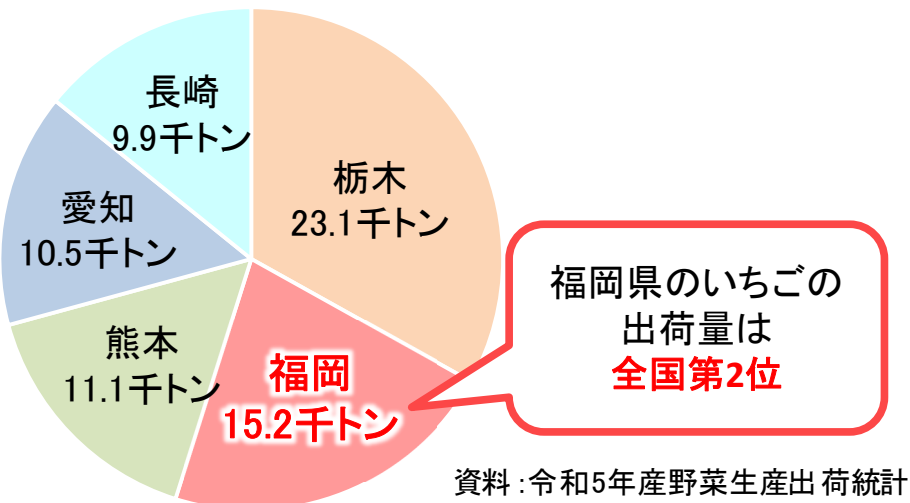
三池港(大牟田市)

# 地域経済の振興

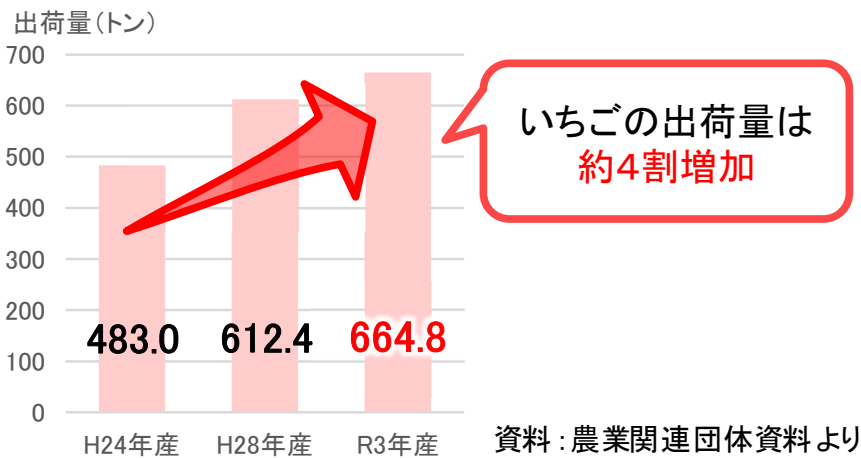
## 企業活動の効率化を支援

沿線地域に代表される農産物であるいちごの生産・物流において、輸送効率性の向上及び技術指導範囲・社員の通勤圏拡大に貢献しています。

### ■いちごの出荷量全国トップ5



### ■いちご出荷量の推移



- ・以前は新田大橋を利用していたが、開通してからは沿岸道路を利用しており移動時間が早くなった、でこぼこがなくなり走行性が安定した、使いやすいといった声を聞いた。
- ・地元の農家さんは日々多忙の中、時間通りに出荷しなければならない。有明海沿岸道路を利用することで輸送にかかる時間が計算しやすくなっている。
- ・栽培技術向上のため農家さんの現地を回っている。開通前は限られた範囲でしか回れなかったが、沿岸道路を利用することで遠方の方にも回ることが可能になった。
- ・パートさんの遠方からの通勤(大牟田、大木町、大川市)が増えた。

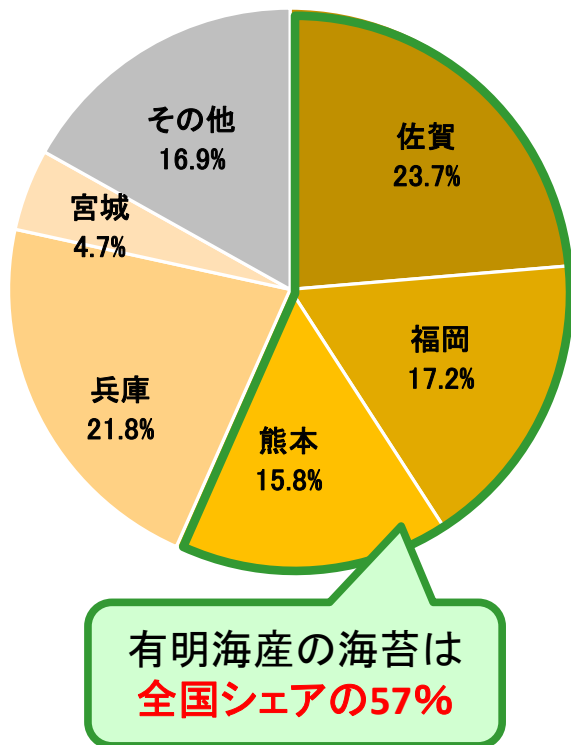
# 地域経済の振興



## 企業活動の効率化を支援

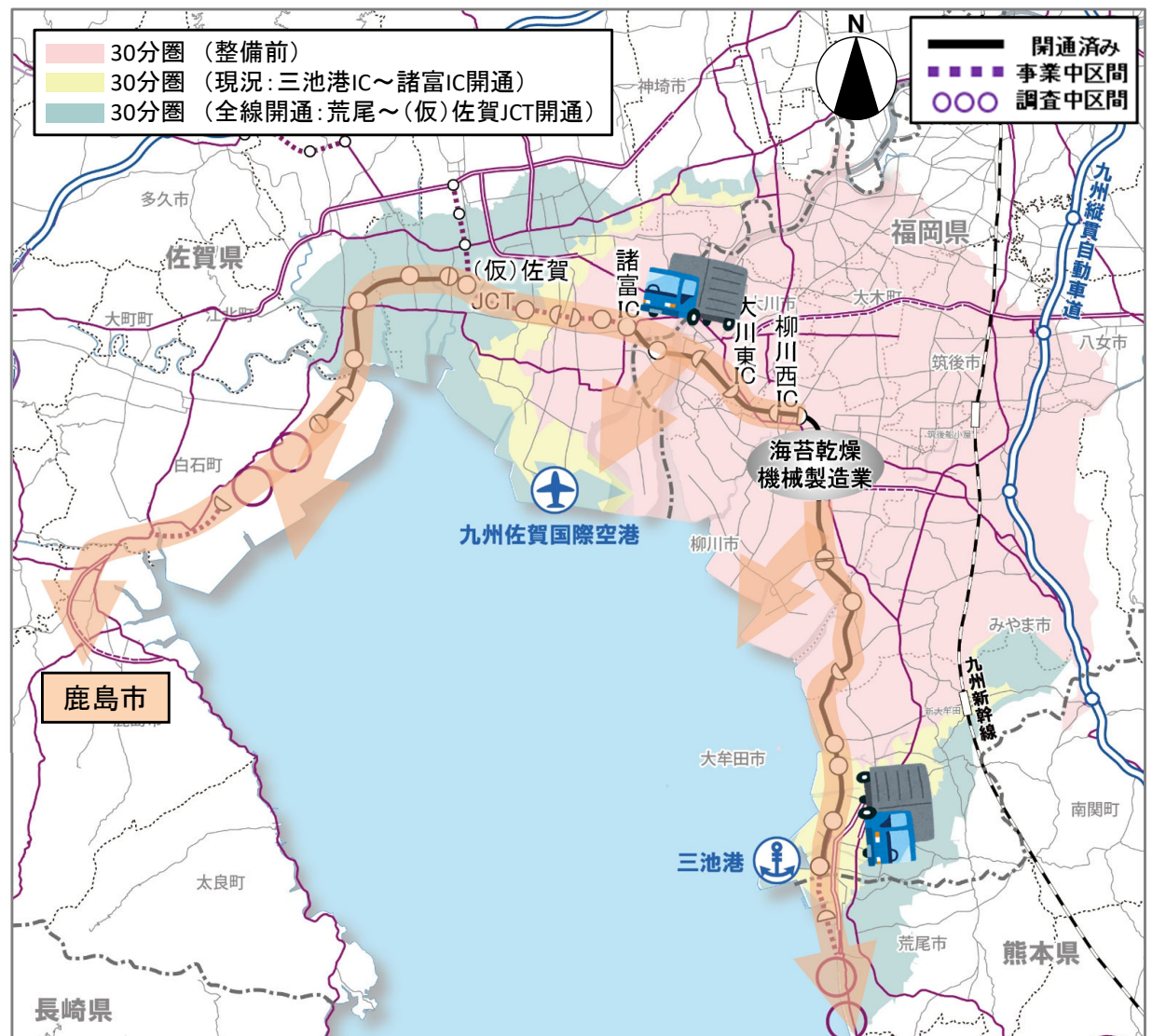
沿線地域に代表される水産品である海苔の生産過程において、有明海沿岸道路の利用により緊急時(機械トラブル等)の効率的な対応や輸送支援の強化に貢献しています。

■のり養殖 県別収穫量



資料 農林水産省 令和4年漁業・養殖業生産統計

資料: R3年度道路交通センサス  
(速度: 混雑時旅行速度)



▲柳川市にある海苔乾燥機械製造業からの30分時間圏 熊本県宇土市

- ・有明海産の海苔は豊富な栄養と潮の干満の大きな環境で育つ事から、高級品として重宝される一方で繊細な品質のため、乾燥工程途中で機械が止まると、傷み易い特徴が有るため、対応の遅れは、品質や価格に大きな影響を与え、収穫期(12月~3月)は昼夜問わずの対応が必要。
- ・有明海沿岸道路整備が進んだことで、熊本県宇土市~佐賀県鹿島市まで広範囲に点在する海苔乾燥機械のメンテナンスや緊急時の効率的なトラブル対応が可能となり、人材確保も厳しい経営環境の中で、円滑な企業経営に大いに役立っており、更なる延伸に期待している。

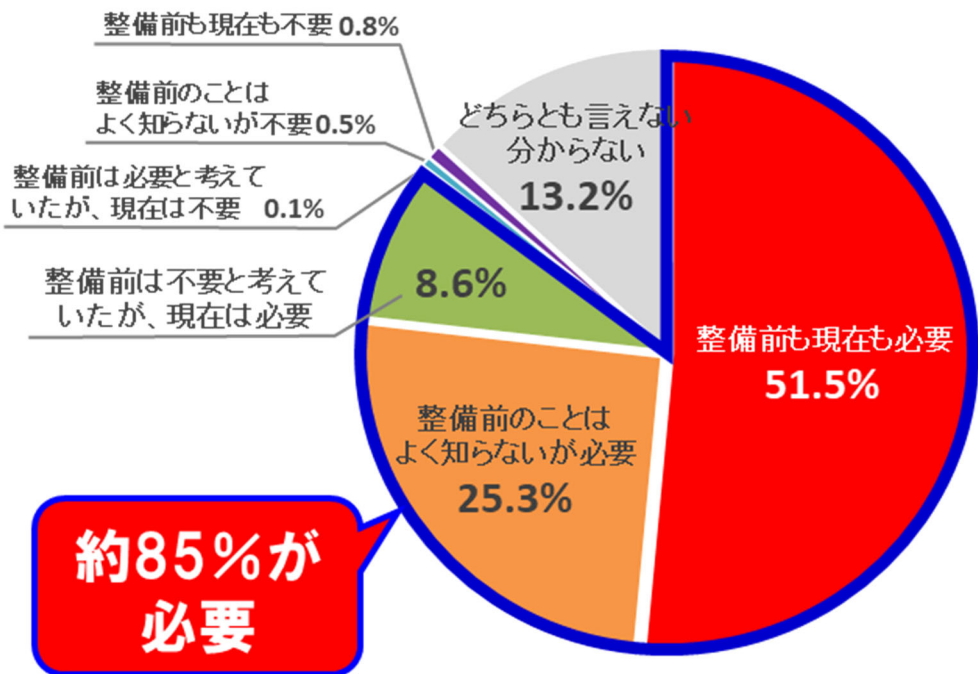




## 地域住民の親近感や愛着を醸成

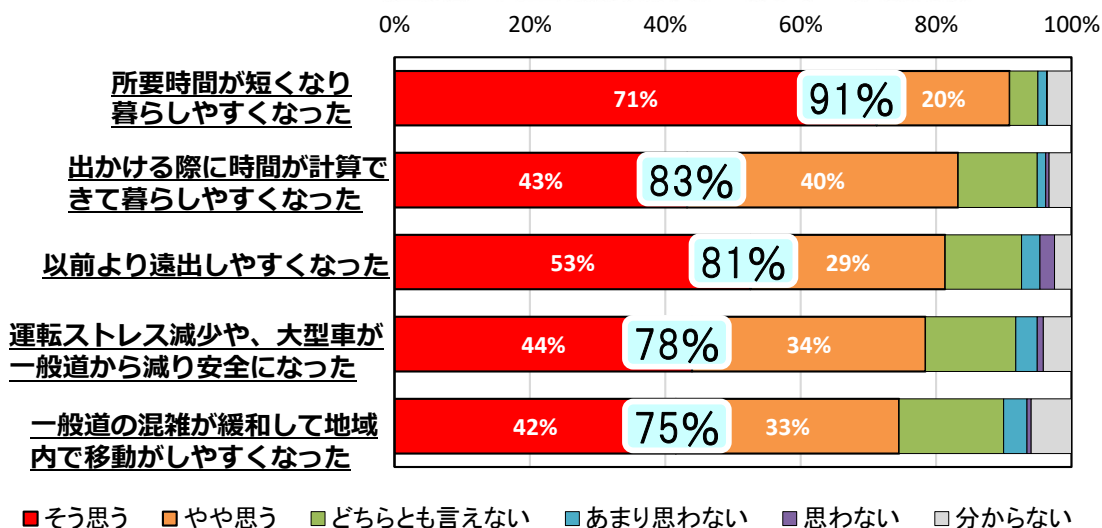
有明海沿岸地域の更なる発展及び産業振興のため、また地域に愛着を持っていただけるような道路を目指し、地域住民や利用者との調和を図ります。

### ■道路の必要性に関する認識



注) 整備前は、一部区間開通前の平成20年3月以前と定義づけ質問

### ■道路の整備効果に関する認識



### WEBアンケート調査

#### 「有明海沿岸道路の整備効果等に関する意識」

##### 《買い物・観光に関する意見》

- 佐賀市から大牟田の商業施設や観光施設に行く回数が増えた。【140名】
- 大牟田市や荒尾市、みやま市、柳川市から佐賀市の商業施設に行く回数が増えた。【48名】
- 福岡県内4市の相互移動機会が増えた。【204名】

##### 《通勤に関する意見》

- 通勤時間がかなり短縮（10～20分）され楽になった。【91名】

##### 《交通安全に関する意見》

- 自動車専用道路のため、歩行者・自転車を気にせずストレスなく安全に運転できる。【102名】
- 国道208号の大型車も含めて交通量が減り、通学路が安全になった。【25名】

（荒尾市～佐賀市の沿線6市に住み、5年以内に道路利用経験がありかつマイカーを利用する環境にある20歳以上の男女対象、有効回収数789名 令和4年7月11日～19日実施）